

第4回 未活用勉強会ワーキンググループ 活動結果報告

● 開催概要

開催日時：2021年11月18日(木) 15:00～16:30 開催手段：オンライン(ZOOM)

● 開催内容

公共視点による事例紹介

『横浜市のPFS導入に向けた取組』

<講演概要>

- ・PFS(SIB)導入に向けた取組
- ・サービス概要/運営体制/ロジックモデル
- ・支払い条件/事業の結果
- ・成果を高めるための創意工夫
- ・自治体がPFSに取り組む意義
- ・PFS導入検討に係るチェックリスト



当日の講演の様子



横浜市 政策局
共創推進課
中尾 充氏

学術機関視点による事例紹介

『行政と研究者がチームになることの意義』

<講演概要>

- ・横浜市SIBにおける研究者の位置づけ
- ・横浜市SIBの特徴
- ・行政と研究者がチームになることの意義
- ・エビデンスと評価
- ・エビデンスを意識すると何がかわるのか



当日の講演の様子



東京大学大学院
医学系研究科
荒川 裕貴氏

質疑応答

パネルディスカッション形式で、最前線で事業に取り組む中尾様、荒川様へ質問応答を実施

<参加者>

- ・横浜市 中尾氏 ・東京大学大学院 荒川氏 ・日本経済研究所 加茂

● 質疑で頂いたご質問概要

- Q1 「成果連動支払いの指標」を作るときのエビデンスは？
- Q2 医療費抑制等の経済的インパクトはどのように算定したのか。
また、経済的インパクトと、委託事業費の関係について
- Q3 研究機関、中間支援組織、第三者評価機関の役割分担は？
- Q4 ロジックモデルにおいて前後の因果関係がなくても、PFS/SIBの仕組み上問題ないか。
- Q5 金融機関におけるリスクの捉え方について
- Q6 事業の達成割合、支払い割合はどのような考えで設定したか
- Q7 ランダム化比較試験におけるサンプル数の考え方
- Q8 アウトカムと予算確保の関係性
- Q9 ランダム化比較試験の対照となる群へ提供するサービスの影響について